

スカルプD まつ毛に関する情報をまとめたWEBサイト「#まつ育アカデミー」オープン

向きがバラバラ「ムカデまつ毛」!?

抜けてスカスカ「貧乏まつ毛」!?

「ひじきまつ毛」だけじゃない新種“ブスマつ毛”が多数目撃!!

まつ毛美容液「スカルプDボーテ ピュアフリーアイラッシュ」をはじめ、オリジナルのエイジングケア商品を展開するアンファー株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:三山熊裕)では、2014年11月11日(火)の「美しいまつ毛の日」に、まつ毛に関する情報をまとめたWEBサイト『#まつ育アカデミー』をオープンいたしました。今回当社では、サイトの公開開始にともない、全国の20~30代 有職者男女500名を対象として、「女性のまつ毛メイク」に関する意識・実態調査をおこないました。

ムカデまつ毛・直角まつ毛・貧乏まつ毛…新種発見！やりすぎ“ブスマつ毛”を解説

今回の調査では、かわいくなるうと「まつ毛メイク」をやりすぎてしまい、結果的に残念な“ブスマつ毛”状態になっている女性が多いという事実が明らかに。実際に、「残念な“ブスマつ毛”状態の女性を見たことがありますか？」という質問をしたところ、女性では約7割、細かなメイクには気づきにくい男性でも3人に1人が「ある」と回答しました。

さらに今回、目撃したことのある“ブスマつ毛”について具体的に調査を実施。その結果、女性にとっては昔からの定番とも言える、マスカラのダマによる「ひじきまつ毛」だけではなく、まつ毛エクステのメンテナンスができず、まつ毛の一部が抜けてスカスカになった「貧乏まつ毛」、つけまつ毛やエクステが変にくっついてしまい、まつ毛の向きがバラバラになった「ムカデまつ毛」など“新種”とも言える“ブスマつ毛”の目撃談が寄せられました。

まつ毛エクステ、つけまつ毛など、ここ数年で「まつ毛メイク」の手法も多様化したことで、まつ毛メイクに力を入れる女性が増え、さまざまな新種の“ブスマつ毛”が登場しているようです。

新種“ブスマつ毛”はこんなまつ毛!? 目撃率と解説

「ひじきまつ毛」…72%



以前から目撃される“ブスマつ毛”の一つ。マスカラの重ねづけでダマになり、ひじきの煮物のようになったまつ毛

「ヤマンバまつ毛」…76%



つけまつ毛・エクステを無駄につけ、ヤマンバのような見た目になったまつ毛

新種

「福笑いまつ毛」…67%



つけまつ毛のズレ、はがれによって福笑い状態になったまつ毛

新種

「直角まつ毛」…50%



まつ毛を根元からビューラーでグイッと上げ、角度が90度になったまつ毛

新種

「貧乏まつ毛」…49%



まつ毛エクステがメンテナンスできず、一部が抜けてスカスカになったまつ毛

新種

「ムカデまつ毛」…46%



つけまつ毛やエクステが変にくっついて、まつ毛の向きがバラバラになったまつ毛

新種

女性に正しいまつ毛ケアの知識を…まつ毛の情報サイト『#まつ育アカデミー』

アンファーでは、このたび、現代女性に対して正しいまつ毛ケアの情報を提供することを目的としたまつ毛情報サイト『#まつ育アカデミー』をオープン。今回のレポートで紹介した調査結果のほか、まつ毛の正しい知識を問う「まつ育統一テスト」など、まつ毛をテーマにしたコンテンツが盛りだくさんです。

ムカデまつ毛・直角まつ毛・貧乏まつ毛…新種発見！やりすぎ“ブスマツ毛”を解説

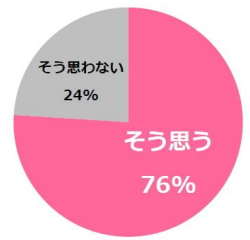
■「まつ毛メイクは見た目を大きく左右する！」女性の約8割が回答

はじめに20～30代の女性250名に、普段のメイクについて調査をおこないました。まず「普段、メイクをするときに、最も力を入れているのはどこですか？」と質問したところ、**最も多かった回答は「アイメイク」で49%**。2位の「ベースメイク」(32%)を大きく上回る結果となりました。

続いて、ビューラー、マスカラ、まつ毛エクステ、つけまつ毛などの「まつ毛メイク」に絞って調査を実施。「**まつ毛メイクは女性の見た目を大きく左右すると思いますか？**」と聞いたところ、**76%と約8割が「そう思う」と回答**しました。また、「まつ毛メイクへのこだわりの有無」を聞くと、36%と3人に1人が「こだわりがある」と答えました。

さらに、「イベントが多い秋冬は、まつ毛メイクにも力を入れたいと思いますか？」という質問では、77%が「そう思う」と回答。普段から「まつ毛メイク」を重視している女性たちですが、**クリスマスや年末年始など、イベントラッシュのこれからの時期には、より気合いを入れたいという人が多い**ようです。

Q：まつ毛メイクは女性の見た目を大きく左右すると思いますか？



■「カワイイ」を目指して、逆効果に？近年目撃されている新種“ブスマツ毛”

しかし一方で、かわいくなろうと「まつ毛メイク」をやりすぎてしまい、**結果的に残念な“ブスマツ毛”状態になっている女性も多い様子**。実際に、「残念な“ブスマツ毛”状態の女性を見たことがありますか？」と聞いたところ、**女性では68%と約7割、女性の細かなメイクにはなかなか気づきにくい男性でも36%と3人に1人が「ある」と回答**しました。

そこで、具体的に「目撃したことのある“ブスマツ毛”」を聞いたところ、下記のような回答が上位に。これまで、「まつ毛メイク」を張り切りすぎて、かえって“ブスマツ毛”になってしまう例と言えば、マスカラのダマによっておこる「ひじきまつ毛」が昔からの定番ともいえる存在でしたが、**最近では「新種」の“ブスマツ毛”も多数目撃**されているようです。

新種“ブスマツ毛”はこんなまつ毛!? 目撃率と解説

以前から目撃される“ブスマツ毛”の一つ。マスカラの重ねづけでダマになり、ひじきの煮物ようになった
「ひじきまつ毛」…72%



つけまつ毛・エクステを無駄につけ、ヤマンバのような見た目になった
「ヤマンバまつ毛」…76%



新種

つけまつ毛のズレ、はがれによって福笑い状態になった
「福笑いまつ毛」…67%



新種

まつ毛を根元からビューラーでグイッと上げ、角度が90度になった
「直角まつ毛」…50%



新種

まつ毛エクステがメンテナンスできず、一部が抜けてスカスカになった
「貧乏まつ毛」…49%



新種

つけまやエクステが変にくっついて、まつ毛の向きがバラバラになった
「ムカデまつ毛」…46%



新種

調査結果からは、つけまつ毛やまつ毛エクステなど、**ここ数年で「まつ毛メイク」の手法が多様化したことが、さまざまな新種の“ブスマツ毛”が登場する一因**になっている様子が見えます。

さらに、“ブスマツ毛”目撃者たちの声としては、次のような厳しい回答が挙がっています。

- ・「まつ毛エクステの量が多過ぎて、**目元が怖い印象**の女性がいる。」(28歳・女性)
- ・「職場の後輩と遊園地に行った時、絶叫マシンに乗るたびに、**まつ毛がどンドンズレて怖かった**。」(36歳・女性)
- ・「気合いを入れてメイクしたのはわかるが、乱れているとむしろ**無神経さや品のなさを感じる**。」(38歳・男性)
- ・「容姿が良かったとしても、**まつ毛ひとつがダメだと、かなり台無し**。」(34歳・男性)
- ・「手入れできないのであれば、**そのままのまつ毛のほうがキレイ**だと思ってしまう。」(27歳・男性)

小さなパーツではありますが、“ブスマツ毛”を目撃した人は男女問わず、かなり残念な印象をもってしてしまうことが多いようです。

■女性たちもやりすぎメイクの“ブスマツ毛”自覚症状アリ…しかし、ケアには無関心

ちなみに、女性たち自身に、「自分が“ブスマツ毛”状態になっているのを自覚したことはありますか？」と聞くと、71%が「ある」と回答。「お金がなくて、まつ毛エクステのメンテナンスができずスカスカに。今思うと恥ずかしい。(25歳・女性)」、「ビューラーの使い方が下手だった頃、まつ毛が直角になって、おしゃれのつもりが滑稽に。(34歳・女性)」、「泣いた時につけまつ毛が丸ごと取れて、隣にいた男の子がかなりびびりしていた。(23歳・女性)」、「まつげエクステが中心から抜けてしまい、しばらく左右だけ長いという残念すぎる状態を耐えることに…。(30歳女性)」など、恥ずかしい思いをした経験のある女性も多いようです。

そこで、「“ブスマツ毛”の原因は何だと思いますか？」と質問したところ、「不十分なまつ毛ケア」と回答した人が46%という結果に。「まつ毛メイク」に力を入れる女性は多い一方で、やりすぎて“ブスマツ毛”状態になってしまったまつ毛を、十分にケアできている女性は少ない様子がうかがえます。こうした女性たちのまつ毛ケアへの意識の低さは、今後さらなる“ブスマツ毛”を生み出す可能性もありそうです。

ちなみに、「“ブスマツ毛”の状態を避けるために、まつ毛に対する意識を高めたいと思いますか？」という質問では、76%と約8割が「そう思う」と答えています。

【スカルプDまつ毛美容液開発担当に聞いた、「まつ育」の心得】

アンファー株式会社 エイジング研究所 研究員 中本万里子

今回の調査では、まつ毛を盛りすぎた「ヤマンバまつ毛」や、カクッと90度にまがった「直角まつ毛」など、さまざまな“ブスマツ毛”の目撃談が寄せられました。

このような“ブスマツ毛”状態は、「見た目」もさることながら、まつ毛への負担も大きいもの。特に、誤ったビューラーの使い方や、つけまつ毛の雑な取扱い、まつ毛エクステの継続的な利用などは、地まつ毛に大きなダメージを与えることが多いと言えます。



とはいえ、女性であれば、まつ毛のおしゃれを常に楽しんでいたいもの。365日、スキのない目元であるためには、まつ毛を育てるという意識と行動が大切になってきます。マスカラやつけまつ毛を落とす時には、専用のリムーバーで負担をかけないようにする、ビューラーのゴムはこまめに付け替える、まつ毛美容液で地まつ毛そのものを元気にするなど、日常的なケアを心がけましょう。

まつ毛は髪よりヘアサイクルが短いので、しっかりとケアしていれば、効果が現れやすい部分です。クリスマス・年末年始など、イベントの多いこれからの時期、しっかりケアしてスキのないまつ毛を目指しましょう。

女性に正しいまつ毛ケアの知識を…まつ毛の情報サイト『#まつ育アカデミー』

「顔の印象」を大きく左右する重要な部位にもかかわらず、大きな負担を強いられている、現代女性の「まつ毛」。まつ毛メイクのしすぎや、誤ったケアなどで、まつ毛が抜けたり、傷んだりしている人も多いと考えられます。

まつ毛美容液市場シェアNo1*の「スカルプD ポーテ ピュアフリーアイラッシュ」を展開するアンファーでは、2014年11月11日(火)の「美しいまつ毛の日」に、現代女性に対して正しいまつ毛ケアの情報を提供することを目的としたまつ毛の情報サイト『#まつ育アカデミー』をオープンいたしました。

サイト内には、今回のレポートで紹介した調査結果のほか、まつ毛の正しい知識を問う「まつ育統一テスト」など、まつ毛をテーマにしたコンテンツが盛りだくさん。また今後も、女性のみならず「まつ育」を通じてイキイキとした美しいまつ毛を目指していただくべく、まつ毛に関するさまざまな情報も配信してまいります。

*トリートメント・マスカラ市場(ブランドシェア)2013年実績(富士経済調べ)

▼『#まつ育アカデミー』WEBサイト

<http://sd-beaute.angfa-store.jp/matsuge/>



アンファー株式会社について

アンファー株式会社は、1987年の会社設立以来「ニッポンを若くする」をコンセプトに、皆さまの「いつまでも美しく、健やかに生きる」というエイジングケア・ライフスタイルの実現を目指すトータルエイジングケア・カンパニーです。多くの医師や臨床機関・研究機関との密接なリレーションを構築しながら、「スカルプD」をはじめ、様々なエイジングケア商品の企画・研究開発および販売をおこなっております。

■このリリースに関するお問い合わせや取材、資料ご希望の方は下記までご連絡ください■

トレンダーズ株式会社 担当: 山口(やまぐち)

TEL:03-5774-8871 / FAX:03-5774-8872 / mail:press@trenders.co.jp